

J E N E S Y S 2 . 0

日本大学生訪韓研修団

訪問日程 平成 25 年 9 月 9 日 (月) ~ 9 月 18 日 (水)

1. プログラム概要

JENESYS2.0 の一環として、日韓文化交流基金で選抜、派遣した日本大学生訪韓研修団 30 名が訪韓し、9 月 9 日から 9 月 18 日までの 9 泊 10 日の日程で研修を行いました (団長: 外務省領事局海外邦人安全課 下地 富雄 課長補佐)。一行は、「伝統」という研修テーマの下、滞在中、大学訪問やホームステイ、地方での文化体験を通して、韓国の文化や歴史について学んだ他、外交部や日中韓協力事務局を表敬し、日韓関係についても知識を深めました。

2. 日程

9 月 8 日 (日)

研修前オリエンテーション

9 日 (月)

金浦国際空港より入国

10 日 (火)

大韓民国歴史博物館見学、日中韓協力事務局訪問、歓迎昼食会 (韓国国際交流財団主催)、「世宗物語・忠武公物語」見学

11 日 (水)

在大韓民国日本国大使館 公報文化院訪問、歓迎昼食会 (外交部主催)、仁寺洞探索、NANTA 観覧、N ソウルタワー見学

12 日 (木)

外交部訪問、韓国外国語大学校訪問

13 日 (金)

板門店見学、ホームステイ対面式

14 日 (土)

終日ホームステイ

15 日 (日)

「日韓交流おまつり 2013 in SEOUL」へ参加

16 日 (月)

龍仁民俗村見学、全州へ移動、文化体験 (餅つき、韓服、パンソリ、全州韓屋村見学、ビビンパ作り)

17 日 (火)

慶基殿、全州韓方文化センター見学、釜山へ移動

18 日 (水)

冬柏島、APEC ヌリマル見学、金海空港より出国

3. 写真

	
(日本語) 9 月 10 日 日中韓協力事務局訪問 (ソウル市内)	(日本語) 9 月 10 日 日中韓協力事務局訪問 (ソウル市内)
(母国語) 9 월 10 일 일중한협력사무국 방문 (서울 시내)	(母国語) 9 월 10 일 일중한협력사무국 방문 (서울 시내)
	
(日本語) 9 月 11 日 在大韓民国日本国大使館 公報文化院訪問 (ソウル市内)	(日本語) 9 月 12 日 韓国外交部訪問 (ソウル市内)
(母国語) 9 월 11 일 재대한민국 일본국대사관 공보문화원 방문 (서울 시내)	(母国語) 9 월 12 일 한국 외교부 방문 (서울 시내)

	
(日本語) 9月12日 韓国外国語大学校訪問 (ソウル市内)	(日本語) 9月12日 韓国外国語大学校訪問 (ソウル市内)
(母国語) 9월 12 일 한국외국어대학교 방문 (서울 시내)	(母国語) 9월 12 일 한국외국어대학교 방문 (서울 시내)
	
(日本語) 9月13日から15日 ホームステイ (ソウル市内)	(日本語) 9月13日から15日 ホームステイ (ソウル市内)
(母国語) 9월 13일부터 15 일 홈스테이 (서울 시내)	(母国語) 9월 13일부터 15 일 홈스테이 (서울 시내)

	
(日本語) 9月15日 「日韓交流おまつり 2013 in SEOUL」 (ソウル市内)	(日本語) 9月15日 「日韓交流おまつり 2013 in SEOUL」 (ソウル市内)
(母国語) 9월 15 일 「한일축제한마당 2013 in SEOUL」 (서울 시내)	(母国語) 9월 15 일 「한일축제한마당 2013 in SEOUL」 (서울 시내)
	
(日本語) 9月16日 伝統文化体験 (餅つき体験) (全州市)	(日本語) 9月16日 伝統文化体験 (韓服体験) (全州市)
(母国語) 9월 16 일 전통문화체험 (떡치기 체험) (전주시)	(母国語) 9월 16 일 전통문화체험 (한복체험) (전주시)

	
(日本語) 9月16日 伝統文化体験 (ビビンパ作り) (全州市)	(日本語) 9月17日 韓方文化館見学 (全州市)
(母国語) 9월 16일 전통문화체험 (비빔밥만들기) (전주시)	(母国語) 9월 17일 한방문화관 견학 (전주시)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

- ・ステイ先で日本に関する質問をたくさん受け、日本人よりも日本に関心を寄せているようで驚いた。
- ・韓国料理を食べきれないほどたくさんふるまってくれた。
- ・チマチョゴリを着せてくれた。
- ・名残惜しく、もっと長くステイしたかった。
- ・韓流ドラマだけではなく直接一般家庭を垣間見られてよかった（みんな温かい人たちだった）。

○学生との交流に関して

- ・個人レベルでのつきあいができた。
- ・日本学科の学生と対話でき、日本に対してとても興味を持っていることにびっくりした。
- ・交流できたこと自体がもっとも印象に残った。
- ・南北分断問題について話し合ったこと（統一したいと思う考えと経済格差のため、したくない考えがあるということを知った）。
- ・学生たちで日本語が上手な人が多く、日本への関心が高かった。

○「日韓交流おまつり 2013 in SEOUL」に関して

- ・日韓のボランティアで共同作業をする経験をできた。
- ・韓国人と触れ合えてよかった。
- ・おまつりがとても楽しかった。

○韓国人の国民性について

- ・みんなとても優しく親切だった。

○文化について

- ・板門店の訪問が南北関係を理解するのに助けになった。休戦中であるということを肌で感じた。
(言葉にならない緊張感を感じた)
- ・板門店を見学し民族性について考え直す、いいきっかけになった。
- ・歴史博物館が印象的だった。
- ・韓国政府の歴史と向き合おうとする姿勢が最も印象に残った。訪れた歴史的施設のすべてが規模・内容・清潔感・イベントが充実していることに驚かされた(管理が行き届いて内容が充実しているのにもかかわらず、低料金。これを見ていかに韓国が歴史教育に力を入れているかが分かった)。
- ・旅行ではなかなかできない伝統文化の体験ができた。
- ・キムチ冷蔵庫やユンノリなど見慣れないものが見られた。
- ・伝統料理や伝統芸能鑑賞など。

○その他

- ・政府間の問題と一般市民の意識の間にはギャップがあると思った。触れ合った人たちはよい人たちだった。
- ・外交部訪問で外交の最前線で働いている人たちの話をきくことができたのはいい経験だった。
- ・学校や外交部訪問において、韓国側の主張する領土問題への意識をおかしいと何度も思ったが、もしそこでその意見を批判してしまったら、それこそが今、日韓の間で起こっている紛争そのものとなってしまおうと思いそうはせず、まず相手の意見を聴こうと思いとどまった。
- ・外交の難しさを知った。
- ・自国にもっと目を向けようと思うきっかけになった。
- ・政治上はトラブルが絶えない日韓だが、草の根レベルでは仲良くしていきたいと思った。
- ・メディアの嫌韓の風潮に騙されて流されてはいけないと思った。
- ・研修中、いろいろな人のいろいろな意見が聞けて見聞や知識が深まった。
- ・韓国人の嫌日の人に良くない態度をとられたのを韓国人が気遣ってくれた。やはり一部の人の言動でその国の印象を決めるのはよくないと深く思った。
- ・外交部の人が「日韓が敵味方、ではなく우리(私たち)と呼び合える関係を目指している」という話をしていたのがとても印象的だった。
- ・このような研修に参加できたことを感謝する。
- ・韓国側の率直な意見が直接聞けた。
- ・実際に韓国を訪れて、印象がよくなったことも悪くなったこともあったが、どちらも重要なことだと思った。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・この研修の体験を周りの人に話し、研修の存在を知らない人に知らせたい。
- ・韓国政府がいかに歴史教育を大切にしているか伝え、日本も見習いたい。

- ・ 韓国人がいかに親切だったか伝えたい。
- ・ 韓国人がどのように考え、どう感じているのかを伝えて、よく報道されている誤解を解きたい。
- ・ 今後インターネットを通じて日韓の友好関係のために尽力したい。
- ・ 韓国にもっと興味を持つ人が増えるように情報を発信していきたい。